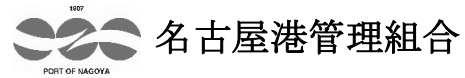


平成30年9月28日



## 平成30年名古屋港上半期港湾統計速報

### (概況)

入港船舶は、隻数が16,453隻(前年同期比0.6%減)、総トン数が1億1,759万トン(同2.1%増)と、隻数は前年実績を下回り、総トン数は前年実績を上回った。

総取扱貨物量は、9,795万トン(同1.4%減)と前年実績を下回った。

そのうち、外貿貨物では、輸出は完成自動車、産業機械等が増加し、2,692万トン(同4.0%増)と前年実績を上回り、輸入はLNG(液化天然ガス)、原油等の減少により3,764万トン(同2.7%減)と前年実績を下回り、全体では6,456万トンと前年並みだった。

また、内貿貨物では、移出は1,750万トン(同7.5%減)と前年実績を下回り、移入は1,589万トンと前年並みとなり、全体で3,339万トン(同4.1%減)と前年実績を下回った。

外貿貨物のうち、コンテナ貨物では、輸出は産業機械等の増加により1,226万トン(同0.1%増)、輸入は衣類・身廻品等の増加により1,214万トン(同0.6%増)とともに前年実績を上回り、全体で2,440万トン(同0.3%増)と前年実績を上回った。

コンテナ取扱個数は、外貿コンテナが132万TEU(同4.0%増)、内貿コンテナが9万TEU(同12.6%減)となり、外内貿合わせて141万TEU(同2.8%増)と前年実績を上回った。

外貿貨物の国別取扱貨物量は、上位5国を見ると、輸出においては、中国が自動車部品等の減少により327万トン(同11.4%減)、アメリカが完成自動車等の増加により220万トン(同5.5%増)、アラブ首長国が完成自動車等の増加により215万トン(同9.4%増)、タイが再利用資材等の増加により129万トン(同6.3%増)、オーストラリアが非金属鉱物等の減少により124万トン(同9.4%減)となった。

一方、輸入においては、オーストラリアが鉄鉱石等の減少により749万トン(同2.5%減)、中国が鉄鉱石等の増加により668万トン(同15.2%増)、カタールがLPG(液化石油ガス)等の減少により327万トン(同10.9%減)、アメリカがとうもろこし等の減少により260万トン(同7.5%減)、マレーシアがLNG(液化天然ガス)等の増加により226万トン(同30.6%増)となった。